

〔第125回銀行業務検定試験〕

「財務2級」団体最優秀賞受賞

オリックス銀行

～自由闊達な社風のもと、少数精鋭の集団であり続けるために～

今回は、去る2013年6月2日(日)に実施された、第125回銀行業務検定試験「財務2級」において団体最優秀賞を受賞されましたオリックス銀行へお伺いしました。

オリックス銀行は、1993年8月に山一信託銀行として設立され、二度の商号変更を経て現在に至っています。1998年にオリックスグループ入りした後、無店舗型の金融機関として展開している、預金残高10,795億円・貸出残高9,636億円・

信託残高6,888億円(2013年3月期末現在)、従業員数516名(2013年5月31日現在)、営業拠点5拠点を有する金融機関です(本店、大阪オフィス、福岡オフィス、立川オフィス、沖縄出張所)。

今回、快く取材に応じてくださいましたのは、総務人事部 人事チーム長 小林丈人さん、同部 人事チーム 草苺裕貴さん、経営企画部 経営管理チーム主任 國貞知子さんです。

●団体最優秀賞受賞について

オリックス銀行は、2013年6月2日に実施された第125回銀行業務検定試験「財務2級」において合格率・平均点ともに全国第1位で団体最優秀賞を受賞されました。また、個人賞についても、「財務2級」において1名が個人優秀賞を受賞されました。

団体最優秀賞を受賞された感想をお伺いしましたところ、小林さんは、「数多くある金融機関のなかで当社が全国第1位となれたことを大変嬉しく思っております。当社は自主性を重んじる社風のため、とりたてて学習指導は行っておりませんが、今回の好成績は社員一人ひとりの自己啓発に対する自覚の高さの表れであると感じております。しかしながら、今回多くの受験者が合格しているなかで、残念ながら不合格となった者もおりますので、今後も自己啓発に取り組んでもらいたいと思っています」と、今後への期待を込めた暖かな笑顔でお話くださいました。

●銀行業務検定試験の受験の経緯等について

オリックス銀行における、銀行業務検定試験の導入理由についてお伺いしましたところ、小林さんは、「当社は元々個人向け融資と不動産事業者向けの融資に特化した専門金融機関として、事業展開をしてまいりました。一般事業法人に対する事業性資金の融資業務を開始したのは2009年からであり、他行に比べると取扱いの歴史も浅く、与信審査能力を全社的に強化するとともに、財務分析能力のスキルアップを図ることが喫緊の課題となっております。

そのようななか、銀行業務検定試験の合格は、研修等を含めた社員教育の手段の一つとして重要視しています」とお話しくださいました。

また、小林さんは、「与信業務における全般的な能力の向上のためには実地を通じた経験によるノウハウの蓄積が大切ですが、客観的な能力判定の指標として利用できる銀行業務検定試験は採用する価値があります」とおっしゃられていました。

●研修体系上での銀行業務検定試験の位置づけ

オリックス銀行における、銀行業務検定試験の研修体系上の位置づけ等についてお伺いしましたところ、草苺さんは、「銀行業務検定試験については、入社後3年目が終了するまでに法務・財務・税務の各3級の受験・合格を義務づけ、2級および他種目の受験・合格を推奨しています。他の資格試験等として、宅地建物取引主任者資格の取得と日商簿記検定試験3級の取得を重視しています」とお話しくださいました。

●オリックス銀行が求める人材について

オリックス銀行の人材育成の基本方針について、小林さんに伺いましたところ、「当社において、マネージャーの人事管理の目的は人材育成であり、最優先課題として位置づけております。当社は少数精鋭で業務を行っており、一人ひとりに環境の変化に即応できる能力の高さが求められています。

少数精鋭の集団であり続けるために、社員には、①問題点を的確に判断し、上下の隔たりなく意見具申できること、②与えられた職務に対して、自他ともに厳しく対応できること、③常に将来を先見し、実効性の高い政策を立案・実行できること、④従来の方法に囚われることなく、常に新しいものを追求できること、⑤公共的使命を担う銀行員に相応しい、高い倫理観・道徳観を備えていること、⑥他社を凌駕する技術・専門知識を有していること、を求めています。

また、社員の自主性と独立性を重んじ、上司から言われたことをただ実行することにとどまらず、若い人であっても自由闊達に自分の意見を述べられる雰囲気大切に、それが当社の社風であり、この社風のもと、共に働いていくことができる人材を求めています」とお話しくださいました。

●注力している業務と求められる役割について

オリックス銀行が注力されている業務について、國貞さんにお伺いしましたところ、「当社の収益の柱は、不動産投資ローン、法人事業、カードローンです。不動産投資ローンは実需以外の投資向けであり、従来からの当社の中心業務として長い実績があります。法人事業は2009年から、カードローンは2012年から取扱いをはじめたものであり、いずれも一段と太い柱に育ててまいりたいと考えております。

さらに、新たな柱として育てるべく信託業務にも注力しており、個人向けに24時間ネット申込が可能な合同運用指定金銭信託を発売し、運用先が1社のみ貸付信託を提供するなど、設立後20年、オリックスグループ入り後15年を迎え、新しい取組みにチャレンジしております」とお話しくださいました。

最後に、オリックス銀行が求められている役割について、小林さんは、「当社は、オリックスグループの一員であることが他行との違いであり、強みともなっています。オリックスグループは自らも事業主として数多くの事業を展開しており、他行にはないノウハウが蓄積されています。お客様の資金調達のみならず、グループの総合力を活かしたソリューションの提案力により、お客様のあらゆるニーズにお応えすることができる金融機関であることが当社の使命であり、役割でもあります」とお話しくださいました。

(お忙しいなか、取材に真摯にご対応くださいました小林さん、草苺さん、國貞さんに心から感謝申し上げます)



▲オリックス銀行 本店



▲総務人事部 草苺裕貴さん(左)・小林丈人さん(右)